

地域医療特別演習Ⅱ

(Introduction to Community Medicine Ⅱ)

第2学年次(地域枠推薦学生対象)

【責任者/担当者】

〔兵庫医科大学〕鈴木 敬一郎 副学長(内部質保証・多職種連携教育・ダイバーシティ担当)

【担当者】

〔医学教育センター〕蓮池 由起子 医学教育センター長、今西 宏安 准教授、
庄司 拓仁 講師

〔医学教育学〕柏 薫里 講師

〔ささやま医療センター〕片山 覚 病院長、担当教員

【目的】

地域枠推薦入学学生について、卒前・卒後連携して地域医療の専門医を養成し、将来地域医療教育の指導医となる資質を涵養する。

【科目キーワード】

「地域医療(communitary medicine)」「家庭医学(family medicine)」「老人保健施設(generic healthcare services facilities)」「総合診療(general medicine)」「プライマリケア(primary care)」

【到達目標(アウトカム)】

- ☐ ささやま医療センターと地域医療機関や地域住民との交流を見学し、本センターの地域医療における位置づけを説明できる。
- ☐ 地域医療における課題を列举できる。

【ディプロマ・ポリシーと授業科目の関連】

- ・安心・安全な医療に強い使命感と自律性を有し、優れた協調精神を持ってチーム医療の一員として社会の福祉に奉仕できる良医となるべき素養を有している。
- ・医療を取り巻く社会経済的動向を把握し、地域医療の向上に貢献するとともに、地域の保健・医療・福祉・介護および行政等と連携協力できる。
- ・人体や疾病に影響を与える社会的な要因や背景について理解し、支援扶助の社会的仕組みについて理解している。

【概要ならびに履修方法】

本学の地域医療の拠点であるささやま医療センターで体験実習を行い、地域医療や家庭医療などの実際に触れる。

【準備学修ならびにそれに要する時間】

丹波篠山市の人口、医療体制などを予め調べておく。少なくとも1～2時間

【成績の評価方法・基準】

実習態度、レポートなどを総合的に評価する。実習科目であるため、参加・皆勤が必須。欠席の場合は不合格科目として進級評価に含める(罰点1)。

【学生への助言】

真摯な態度で参加すること。個人的事由、クラブ活動などによる欠席は認められない。

【フィードバック方針】

特に行わないが、態度不良の場合は注意することがある。

【オフィスアワー】

特に設定しない。

【受講のルール、注意事項、その他】

夏期休暇期間中に研修を予定しているが、詳細な日程は後日掲示する。体調不良の場合は速やかに連絡すること。

【教科書】

なし

【参考書】

なし

【連絡先】

教育研究棟 3 階 医学教育センター(0798-45-6284 または 6275)